

家庭用

子どもたちの歯の健康を守るために

ご家庭の協力をお願いします



平成31年3月
鳥取県教育員会

☆ 鳥取県の子どもたちの歯の現状

鳥取県の子どもたちのむし歯の保有状況（有病率）は年々減少しているものの（図1）、一人で多数のむし歯を保有している子どもがいること（図2）、学校から繰り返しむし歯の治療勧告をしても受診されず、むし歯が進行してしまう子どもが多くいること（図3）等が、問題となっています。

学校の健康診断はあくまでスクリーニングであり、診断結果が確定しているわけではありません。これは、歯科に限らず内科、眼科、耳鼻科等の他の健康診断の項目も同様です。ですから、学校から受診を勧められた場合は、早めに専門医を受診させるよう、ご家庭の協力が必要です。受診が終了されましたら、受診終了の書類を必ず学校へ提出してください。

図1：鳥取県のむし歯有病率の年次推移（%） ※学校保健統計（処置完了者含む）

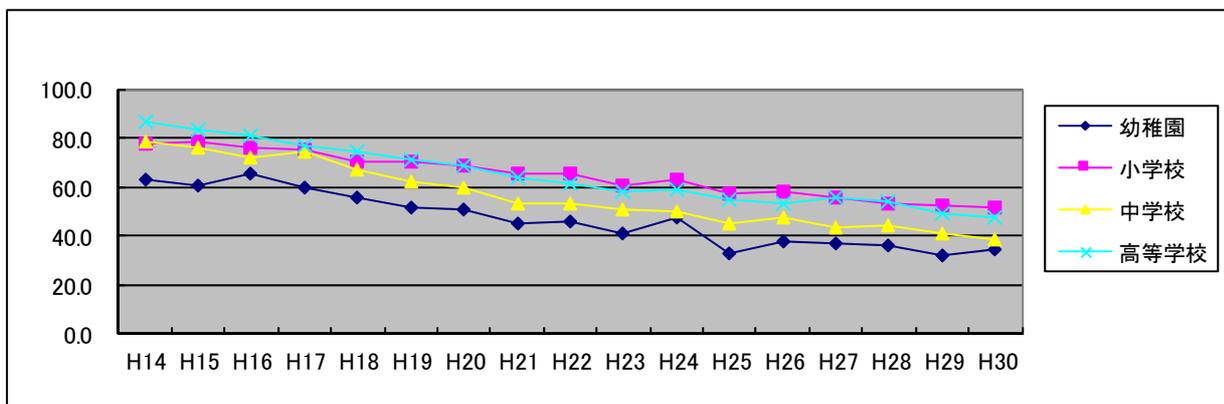


図2：平成30年度の健康診断で、1人あたり10本以上の要治療のむし歯をもつ子どもの人数(人)

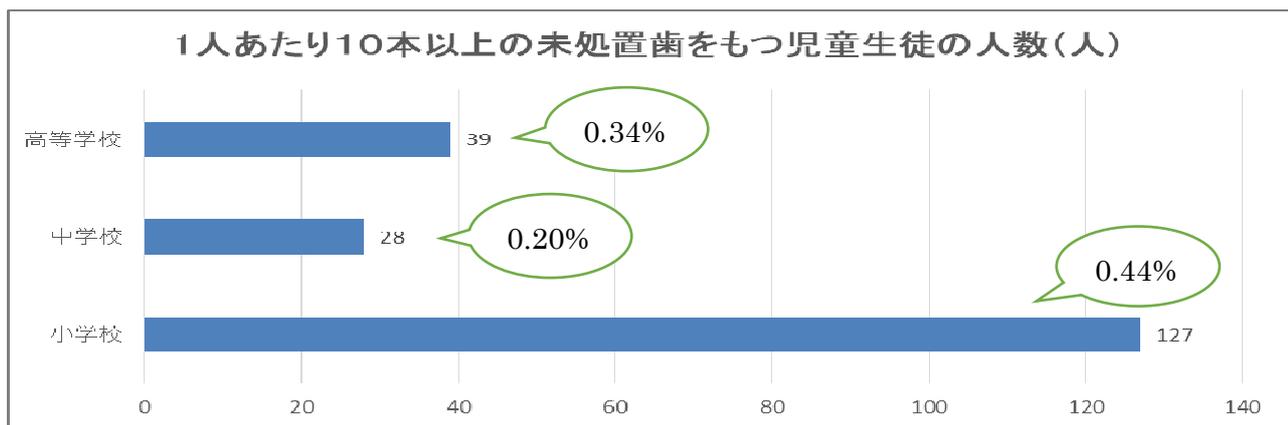
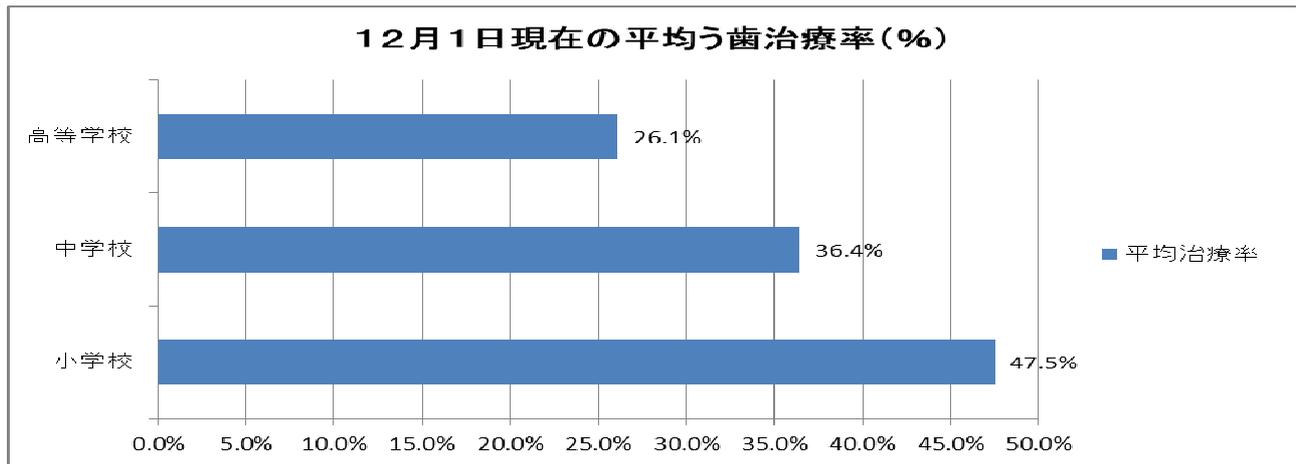


図3：平成30年度平均むし歯治療率（%）（H30.12.1現在）



むし歯は日々の予防と早期発見・早期指導・適時治療が大切です！！

むし歯は自然に治ることはなく、放置すれば進行し、治療にも長い時間や費用を要します。むし歯はひどくなると痛みを伴い、集中力が低下したり、偏食の原因にもなり、学業やスポーツ、全身の健康にも悪影響を及ぼします。

また、乳歯のむし歯は、乳歯は生え変わるから大丈夫というものではなく、永久歯の発育不全の原因にもなり、さらに永久歯の歯並びにも影響します。

歯周病は日々の予防と早期発見・早期指導・早期治療が大切です！！

歯を失う原因はむし歯と歯周病がほとんどです。前述のようにむし歯保有者は減少傾向にありますが、一方、歯周病は増加しています。歯周病というと成人の病気のように思いますが、10代からの予防がとても大切です。歯肉炎や歯石沈着を指摘されたら、歯科受診をして、指導、歯石取りを必ず受けましょう。

☆ 歯みがきによるむし歯の予防効果

子どもたちが、大切な歯を守るためには、「歯みがき」は重要です。「食後と寝る前に歯をみがく」という生活習慣を身に付けることが大切です。学校では給食後の歯みがきを徹底しています。ご家庭では、朝食後、夕食後、寝る前の歯みがきをお願いします。

また、むし歯予防のためには「フッ化物配合歯磨剤」を正しく用いることは有効であり、デンタルフロスとフッ化物洗口を併用することも大切です。

大人でも、自分の歯をきれいにみがくことは、難しいものです。歯科医院では自分にあった歯のみがき方を教えてもらうことができます。

むし歯ができてから通うのではなく、むし歯予防という視点から、定期的にかかりつけ歯科医院の指導・管理を受けてみるのはいかがでしょうか？

☆ 治療費等の経済的負担

鳥取県では、子育て世帯の負担を軽減するため、小児特別医療費助成という制度があり、18歳に達する日以後の最初の3月31日まで、自己負担額が、通院の場合は、1日530円（同じ医療機関の場合は、月5回目以降は無料、入院は、1日1,200円）が上限となっています。これは、鳥取県独自の制度であり、この期間を過ぎてしまうと、従来の医療費額を負担する形となります。また、要保護、準要保護家庭の方は、お子さんが義務教育の間、むし歯治療用の医療券が発行されますので、必要な方は受診される前に学校へ尋ねてみましょう。

☆ 結果通知書（参考）

※治療が終了したら、この書面を学校へ提出してください。

| | |
|------------------|----------|
| 保護者様 年 組 番 氏名 | 平成 年 月 日 |
| | 学校 |
| | 校長 |

歯・口の健康診断結果のお知らせ

歯・口の健康診断の結果は、下記の○印のとおりです。

| | |
|------|--|
| 異常なし | 健康診断の時には、特に問題は見つかりませんでした。これからもこの状態を保つため、歯みがき剤を用いた丁寧な歯みがきと規則正しい生活習慣（食生活）に留意しましょう。 また、定期的にかかりつけ歯科医の指導・管理を受けて、歯・口の健康づくりに心がけましょう。 |
|------|--|

【経過観察のみに○印のある人】は、歯みがき剤を用いた丁寧な歯みがきと規則正しい生活習慣（食生活）に注意して様子を見て下さい。また、かかりつけ歯科医による継続的な指導・管理を受けられることもおすすめします。

| | | | |
|------|-----------|---|--|
| 経過観察 | シ | ○ | むし歯に進行する可能性が高いむし歯になりかけの歯があります。（乳歯・永久歯） |
| | ジ | ○ | 歯肉に軽度の腫れや出血がみられます。歯肉炎に進行する可能性があります。 |
| | 歯垢の付着 | | 歯みがきが不十分です。むし歯や歯肉炎の原因になる歯垢が残っています。 |
| | 歯列・咬合・顎関節 | | 定期的な経過観察が必要です。特に気になる場合は、かかりつけ医に相談してください。 |

※ここに○印のある人は、必ず受診が必要です。

以下、[受診結果]欄等への記入を依頼し、後日、本書を学校に提出して下さい。

| 受診をおすすめします | 疾病異常 | 説明 | 受診結果 (歯科医師記載欄) |
|------------|----------|--|-------------------|
| | C0要相談 | むし歯になっている可能性の高い歯があります。（乳歯・永久歯） | 治療終了・経過観察 |
| | むし歯(C) | 治療を必要とするむし歯があります。（乳歯・永久歯） | 治療終了・経過観察 |
| | 歯肉炎(G) | 歯の周囲に歯石が沈着し、歯肉炎があります。 | 治療終了・経過観察 |
| | 歯石の沈着 | 歯肉炎はありませんが、歯の周囲に歯石がついています。 | 治療終了 |
| | 歯列・咬合の異常 | 歯並び・かみ合わせに著しい乱れが認められます。 | 治療開始・経過観察 |
| | 顎関節の異常 | あごの関節に症状がみられます。 | 治療終了・経過観察 |
| | 要注意乳歯 | 永久歯のはえる場所に乳歯がまだ残っている状態です。抜歯するかどうか診断する必要がある乳歯があります。 | 治療終了・経過観察 |
| | 歯垢の付着 | 歯みがきが不十分です。むし歯や歯肉炎の原因になる歯垢が大量に残っています。 | 治療終了・経過観察 |
| | その他 | ()のため、検査または治療を受けてください。 | 治療終了・経過観察 |

歯科医師特記事項 ()

平成 年 月 日

医療機関名
歯科医師名

保護者の皆様へ（注意事項）
上記受診のおすすめの項目のうち、「歯列・咬合の異常」に対する歯科矯正治療は、保険適応外となりますご了承ください。